



千代田区立麹町中学校同窓会
復刊第9号
発行人 古賀 知(10期)
編集人 小泉 究(19期)
平成30年5月吉日発行
東京都千代田区平河町2-5-1
<http://kojimachijh-dosokai.jp/>

名誉会長挨拶

千代田区立麹町中学校 校長 工藤勇一

同窓会の皆様には昨年度も特別授業「卒業生が講師」の運営や映像編集用PCやベンチの寄贈など、様々な形でご支援を賜りました。誠にありがとうございます。厚く感謝申し上げます。

現在、AI(人工知能)やビッグデータといったICT(情報通信技術)の進展により、経済構造は急激なスピードで変化しています。第4次産業革命が到来しているとも言われるほどです。生徒たちが大人になる頃には、一つの会社に退職まで勤め続けられることはほぼ無いかもしれません。今まで以上に確かなスキルを身につけ、自らの意志で起業したり、転職したりする力がますます必要になると考えられます。

麹町中学校の校長に着任以来、「子どもたちの今後」を最優先に、形骸化した教育活動の見直しと改善作業を行ってまいりました。この活動は何が目的で行っているのか、誰のために行なっているのか、なぜ必要なのかなど、改めて一つ一つ吟味し、それを実現するための手段としてカリキュラムや指導方法を再構築してきました。(最近では本校のこの取組みは全国の公立・私立学校だけでなく、国会や行政、マスコミなどでも大きく取り上げられるようになってきました。)次々(P3)ページの図は今年度の麹町中のカリキュラムの一部です。タイトルだけご覧いただいても社会を見据えたカリキュラムに転換したのがお分かりいただけるのではないかと思います。

麹町中学校は、約4年間変化し続けてまいりましたが、まだまだスタートラインに立ったばかりだとも感じています。「世の中まんざらでもない。大人って結構素敵だ!」どんなに変化する時代においても、全ての生徒にそんなメッセージを贈ることのできる学校づくりを目指し、これからも進化し続けていきたいと思っておりますので、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



同窓会総会開催通知

同窓会会長 古賀 知(10期)

麹町中学校同窓会規約第11条に基づき、平成30年度の同窓会総会を別記の要領で開催いたします。同期の仲間呼びかけ、お出かけいただきますようお願いいたします。

記

開催日時：平成30年6月24日(日)
10時30分～
開催場所：麹町中学校 合同教室
(千代田区平河町2-5-1)
会費：無料
(ただし、同窓会の年会費が未納入の方は
当日2,000円をお支払ください)

議事内容：
(1)平成29年度事業報告
(2)平成29年度活動計算書、貸借対照表及び
財産目録 同 会計監査報告
(3)平成30年度事業計画(案)
(4)平成30年度収支予算(案)
(5)役員改選
(6)その他

(以上)

(議事終了 11時30分予定)

総会終了後、生徒中心の報道局(部活の一環)が作成した70周年記念プレゼンに使用されたビデオを上映しますので、是非ご覧ください。

創立 70 周年行事報告

西田 博嗣 (3期G組)

麹町中学創立 70 周年を記念して「麹中祭」(文化祭) が平成 29 年 10 月 27・28 日開催されました。

28日は朝9時から全校生徒が体育館に集合、父兄・同窓生も参加して、まず生徒が作成した麹町中 70 年の歴史が発表されました。続いて中村桂子さん(3期生、JT 生命誌研究館館長)

が記念講演をされました。「生命誌」は中村さんが提唱したもので生命科学を使って 38 億年に及ぶ生命の歴史を解明する学問です。

中村さんの説明の一部を紹介すると：地球上には 135 万種の生物が生息していてその 65%は昆虫です。アゲハチョウの仲間はその幼虫が特定の植物のみを食草として利用するので、メス成虫が正確に植物を識別して、産卵場所を間違えないことが次世代の生存を左右します。産卵の前に植物の葉の表面を前脚(化学感覚子がある)で叩き植物に含まれる化合物(味)を感じ取っているのです。DNA(ゲノム)についてもわかりやすい説明がありました。最後に、「皆さんも体内にゲノムとして 38 億年の歴史を持っています。自分の命を大切にしてください。」と締めくくりました。

講演内容がやや堅苦しいものでしたが、生徒たちは熱心に聴いていました。約 1 時間の講演が終了すると十数人の生徒が演壇から降りた中村さんを囲んで色々質問していました。

将来が楽しみな麹町中学生の姿を見ました。



同窓会入会式、卒業式

3月13日、階段教室で同窓会説明会を開催いたしました。幹事長が参加し、そこでは、同窓会規約の説明と同窓生の活躍、同窓会の良さなどの話をいたしました。

卒業式は、3月16日に行なわれ、平成 29 年度卒業生、第 70 期生は男子 52 名、女子 51 名、合計 103 名で、卒業生総数は 21,567 名となりました。

祝入学式

入学式は 4 月 9 日に行なわれました。新入生は男子 60 名、女子 62 名、合計 122 名。4 クラスが形成されます。

新入会員の声

「伝統と誇り」

70期 荘 敬大

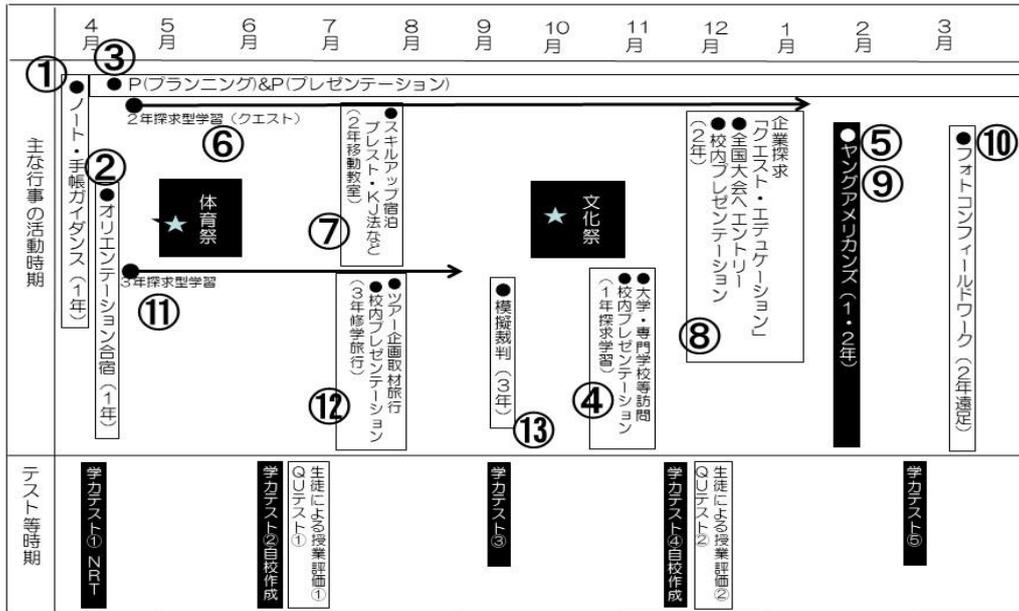
私たち 70 期生は去る 3 月に麹町中学校を卒業した。この 70 年の歴史を持つ学校を卒業し、そして、素晴らしい先輩方のいる同窓会に所属できることは私たちの誇りである。いま私が感じているその誇りは、麹町中学校という環境や伝統によって与えてもらえるだけでなく、仲間とともに過ごした麹町の三年間によって感じているものである。

今、麹町中学校はこれまで先輩方が築いてきた伝統を礎にさらなる変革を進めている。その中で、私たちは激動の三年間を過ごしてきた。生徒も、「自律」の言葉のもとに学校運営・行事の一端を担ってきた。その活動の中で、私たちは社会でも通用するスキルとして「感情をコントロール」することや「対立を解決」する方法を学んできた。そして、「卒業生が講師」などの行事では、社会で活躍するロールモデルと直接触れ合い、進むべく道を確認たるものにしてきた。

私は、卒業式で代表の言葉として後輩たちに「この環境の中で、多様な変化に『進取の気性』をもって学ぶことを誇りに思い、さらに麹町中を発展してほしいと」夢を託してきた。私は三年前とは比べようもないくらい麹町中のことが好きになり、誇りに思っている。麹町中学校がこれからも、さらに発展を続けてくれるという願いと共に、その土台の一部になったことが、さらに私の誇りを増してくれている。誇りは誰かが与えてくれるものではなく、自分がどれだけかかわったかによって得られるものだということを強く感じる、三年間であった。

私たち節目の 70 期生は、既にそれぞれの道を進み始めている。更なる節目の機会、100 周年に仲間たちと再会し、思い出を語り合うことを今から楽しみでならない。

社会に開かれた問題解決型カリキュラム



卒業生が講師

平成 29 年度の「卒業生が講師」は 3 年生を対象に、11 月 11 日(土)に行われました。昨、平成 28 年度と同様に 2 時間目と 3 時間目に希望する講師 2 人の授業を聴講しました。

なお、本年度は 12 月 8 日(土)午前中に開催いたします。講師を募集します。
自薦・他薦、同窓会事務局まで連絡ください

卒業	氏名	職業	演題
5期	勝俣友子	アコーディオン「風のアンサンブル」代表 (元公立学校校長)	「読書の秋を楽しみましょう！」
12期	吉田茂男	一般社団法人 まちラボ産学技術ユニオン 代表理事 理化学研究所 名誉研究員	「植物と人間」
17期	永野健二	著述家	「1980年代『バブル』の時代を考える」
20期	愛知徹也	歯科医師	「歯、口、あごの怪我と スポーツマウスガード」
36期	西垣敦子	経済産業省中小企業庁 小規模企業振興課長	「職場としての霞ヶ関」



勝俣友子氏

吉田茂男氏

永野健二氏

愛知徹也氏

西垣敦子氏

講師からの報告

経済産業省中小企業庁小規模企業振興課長 西垣淳子(36期E組)

70期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

昨秋、私は36期卒業生として、中学生である皆さんのもとにうかがい、一時間の講義を二つのクラスで行わせていただきました。あっという間に、中学生生活が終わり、それぞれの道を歩み始められていることに、時間の流れの早さを感じています。

久しぶりにうかがう母校は、校舎も建て替えられ、知らない学校にきた気分でした。それでも、教室に入り、変わらぬ制服に身を包み、明るい笑顔の皆さんに迎えられると、麹町だなあ、とほっとしたのを覚えています。

講義では、国家公務員として働いている自分の経験をベースに、内閣の仕組み、霞ヶ関の官庁と国会の関係、予算や法律が成立する過程などをお話しました。ちょうど、社会の授業で国会、内閣、裁判所といった国の組織や役割を学んだばかりとのこともあり、皆さん、関心を持って聞いてくださったと思います。授業のあとのアンケートでは、実態がわかり、面白かったというコメントを、たくさんいただきました。講義を引き受けることについては、当初躊躇した部分もありましたが、皆さんに質問を投げ掛け、いろんな反応を見ることができ、私にとっても、大変楽しいひと時でした。講師の話を一方向的に聞いているだけでなく、自分も授業に参加するということを、一人一人が理解しているのは、さすが、麹町生といたいところですよ。

今、教育に期待することは、大きく変わろうとしています。AIが発展し、人々に求められる能力は、知識力よりも、クリエイティブ力、判断力に変わっていくと言われていています。受け身でなく、考える力がますます重要になっています。そして、麹町中学では、そうした教育を実践していることを痛感した日でもありました。麹町中学の取り組みは、3月の国会の場でも、新しい教育を実践する好事例として紹介されており、公立の星として期待されていることをうれしく思っています。

皆さんが、麹町中学で培った考える力をベースとして、これからの人生をしっかりと歩いていけることを期待しております。卒業生の一人として、皆さんの活躍を心から応援しています。

受講者の感想

『植物と人間』

私たち人間は、何億年という生物の歴史が詰まっていることを再認識しました。また、この人間の歴史は長い地球の歴史のほんの一部であることは、私に太古の昔から存在する生物へのすごさを感じさせました。なので、人間はこの美しい地球を守っていかなければならないと思いました。

『1980年代「バブル」の時代を考える』

バブル時代の様子と、昔の麹町中学校の様子を聞いてよかったです。父がバブル時代の人で、昔からいろいろ聞いてはいましたが、今回の話を聞いてバブルの時代はやっぱりおかしな時代だったんだということがわかりました。「バブル」時代のことをもっと学べたらいろいろなことがわかるかも知れないですね。ありがとうございました。

『1980年代「バブル」の時代を考える』

永野健二さんのお話を聞いて、もともとバブルはすでに過去のもので、意識していなかったけれども、アベノミクスの金融政策によってバブルが本当に起こってしまうのでは、と不安になりました。母や父が言うには、バブルはよかったですらしいですが、その後、結構大変だったそうです。一時の幸福に目がくらんで、その後の人生を台無しにしてしまわないように気をつけていきたいな、と思いました。

『歯・口・顎の怪我とスポーツマウスガード』

普段スポーツをすることはあまりありませんが、スポーツマウスガードの重要性をしっかりと理解できました。また、それと合わせて、口や歯の怪我をした時には、歯科医院に行くことが最善の手段であることができた良い機会でした。今日はためになる、ありがたくそして面白いお話をありがとうございました。これを機に口や歯、体の健康には一層注意していこうと思います。

『職場としての霞が関』

私は、国に携わる人といったら、安倍さんと菅さんしか思いつきませんでした。各省があって内閣の下で動いているのは知ってはいても、あまりどういうものなのか想像できなくて、今日詳しく知って新しい発見がいろいろありました。楽しく学べてよかったです。



同期会開催報告

2期

藤崎文隆（2期C組）

例年通り四谷の主婦会館の一室で第二期（実際は新制中学第一期生）の同期会が行われました。昨年に比べ十名減の二十一名の参集でした。我々の時代は戦争があり集団疎開を体験そして戦後の混乱期、高度経済成長期、そしてバブル崩壊等々様々な苦難を乗り越えて生きてきた言わば戦友たちです。その仲間が一人去り二人去り年々減少してゆくのは寂しい限りです。

三つのテーブルを囲みお互いの近況を語り合うとき成長期に食べ物は何もなかったのによく

ぞこれまで生き延びてきたなあと言うのが皆の実感です。今日の豊穰の時代を象徴するようなテレビに映し出される大食い競争、グルメ番組、全国の食べ歩き番組等には違和感を感じざるを得ません。また、近年の科学技術の急激な発展、それに伴う人々の価値観の変化にはとてもついてゆけないと言うのが八十をとくに過ぎてしまったみんなの思いです。

次回は平成最後の同期会となります。この記事を見てひとりでも多くの方が集まってくれば望外の喜びです。お互い健康には気を付けて元気で再会を約して散会となりました。



4期

井上(橋本)由美子（4期C組）

昨年の5月14日、第4期卒業（昭和11、12年生まれ）の同期会を、参宮橋の「代々木倶楽部」で開催しました。今年は傘寿のお祝いをおかねての会となりました。卒業生400名のうち、34名の出席となりました。

私達の中学生時代は、日本国は戦争に負けて6年、憲法が公布されて、新しい国造りを、模索している時代で、貧しく校舎もなく、番町小学校に間借りしておりました。運動場は小学生が使っており、中学生は校舎の屋上のコの字の狭い所で体育の時間を過ごしたり、遊んだりしておりました。

今、思うと子供なりに苦勞も多かったと思いますが、楽しい思い出も沢山いただいたとても懐かしい中学時代でした。65年の歳月が流れ、恩師のご出席もないのはもちろん同期生も亡くなったり、体調を崩したりでちょっと淋しい会になりました。

した。受付では知らない顔も、だんだん昔の顔に蘇ったりもしました。

我が同期の誇りである、渡辺充さん（元天皇陛下の侍従長）に講演をお願いしたところ、心よく引き受けて下さいました。天皇陛下の日常生活など興味深いお話を伺うことが出来ました。

二次会は高齢者の移動の困難も考慮して、同じ場所で行ないました。おかげ様で懐かしい思い出のつきない、楽しい会を持つことが出来ました。

この会は元D組の中村（本多）慈子さんが永久幹事で、絶大な統率力と実行力で、存続しております。長い間御苦勞様でした。この場をおかりして厚く御礼申し上げます。母校は新校舎となりましたが、昔の友とは縁切れることなく、たくさんの思い出をいただき、ありがとうございます。

次の目標“米寿を祝う会”まで、お互いに元気で頑張っていきたいと思っております。

7期

岩田啓一（7期F組）

七期（昭和30年卒業）は、第26回総会・懇親会を平成29年10月28日（土）に開催、78歳の元生徒81名が集まった。90歳を超える恩師お二人（帖地先生、祐本先生）を交えての歓談は一気に65年前の少年少女に戻って、活気と若さ溢れる高齢者の懇親会であった。94歳の帖地先生は真に豊饒としておられ、張りのある大きなお声でのお話に生徒一同感服。「高齢で元気」の秘訣は「転ばぬこと」と諭され、高齢の元生徒を元気づけられた。

これに先立っての総会では、七期会の解散を決議し、今回の総会が最後の総会となった。併せて、七期会解散後も 高齢化に応じて、負担の少ない、規約に縛られない自主自由な同期会活動は続けていこうと確認しあった。我ら七期生は、七期会解散後も「心の故郷、誇れる麹町中学」をよすがに、「七期生の永き良き交流」が続くよう、とりわけ傘寿のお祝いでの再会を誓い合ったのである。

15期

石井(中)文子(15期C組)

平成29年10月1日、15期(昭和38年卒)の久々の同期会が日本プレスセンタービルで120名が集まり開催されました。予想を大きく上回る人数で全体集合写真が撮れないほどでした。そこでドローンで会場内を撮影、ここではご紹介できないのが大変残念ですが、皆さん、むかしに戻り、とても楽しい時を過ごしました。

17期

17期同期会実行委員会委員長 泉 登茂子(17期F組)

平成29年10月21日(土)ホテル ルポール麹町3階マープルの間で、76名が参加し、第1回同期会が開催されました。クラス会や飲み会、ゴルフなど同期が集まる機会はあったのですが、卒業後半世紀を過ぎてやっと同期会が実現しました。

2年前に同窓会役員に就任したのを機に、一度は同期会を開催したいとの思いから情報収集し、仲間に声掛けをし、実行委員会を同年1月16日に立上げ、2カ月に一度8名で委員会を開催し、準備を進めました。

難関は、判明している連絡先が卒業生539名中半数にも満たなかったことです。各委員がそれぞれのネットワークを駆使し、徐々に名簿の虫食いを埋めていきました。メールで突然本人から連絡があった時には感激し、すでに亡くなられているとの情報を受けた時には寂しい思いをしました。

7月会場視察、8月お盆明けには開催通知発送、毎日更新される参加者の人数、不安と期待で当日を迎えました。同期会の前に希望者を対象に校舎見学を実施し、宮森副校長の案内でモデル校として改築された校舎を一周、我々が在学した時の校舎とのギャップには驚くばかりでした。

見学ツアーを終えて会場に移動すると、すでに多くの参加者が集まっており、いよいよ開会です。卒業以来初めて再会する顔にも当時の面影が残っており、時間は半世紀タイムスリップ、同じクラスになった人は限られていますが、歓談の輪が広がっていきました。2時間の一次会はあっという間に過ぎ、新たな参加者を加えた二次会も盛会、その後も三次会と話は尽きませんでした。



これが最初の最後と思って準備してきましたが、次回を望む声も多く、今回は参加できなかったのもまた機会を作ってほしいとの要望もありましたので、第2回も企画することになっています。これを機に同期の交友が益々盛んになってくれることを望んでいます。

19期

小泉 究(19期J組)

平成29年5月20日、卒業50周年の同期会に87名が参加しました。母校が創立70周年、我々が金祝ということで平成10年の同期会以来の会費の繰越金から校庭にベンチ1基を寄贈しました。その記念に幹事会で工藤校長先生を訪問しました。次の同期会は3年後の古希の年となるのかは今後、有志の検討です。



25期 還暦同期会に思う

第25期同期会会長 島村博之(25期J組)

本年2月25日、ホテルオークラにおいて麹町中学25期(昭和48年卒業)の還暦同期会を開催しました。

我々の期は入学時および2年生の時は10クラス、3年生の時にはA組からK組までの11クラス、総勢530名というたいへんな大所帯でした。番町小、麹町小、永田町小出身者の他、中学時から麹町に通うようになった生徒も含め、越境入学者が過半数を占めるといふ、今から思うと特異な時代でした。

前回の同期会が10年前でしたので、連絡先がわからなくなっている同期生も多々おりましたが、細い糸を手繰るようにして探しに探し、おかげさまで最終的に89名が参加し、A組担任・音楽の小原光一先生、I組担任・英語の萩野浩先生、J組担任・国語の北見功先生、理科の千葉定先生のご臨席も賜り、旧交を温めることができました。本当に喜ばしく思っております。小原先生の指揮で数十年ぶりに校歌を斉唱、「45年もたっているのに、皆よく覚えているなあ」と驚きもしました。



去年から今年にかけて還暦を迎えるという事もあり、仕事の上での転機を迎えた人も多く、前回の同期会とはひと味違う趣もありましたが、この同期会でご縁が新たにつながり、「10年先などと言わず近々また集まろう」という話も出ました。「人生百年」ともいわれる時代に、多感な中学時代を共に過ごした旧友たちとの末永い交流は、私たちの豊かな後半生にとって宝物のようなものです。

同期会開催にあたり母校とのつながりも新たにすることができました。これを機に銀杏の色づく頃にも現在の新しい校舎も訪れてみたいと思う今日この頃です。

同期会/クラス会開催予告

幹事団代表 深尾精一(16期E組)

16期(昭和39年卒)の同期会は10月28日(日)の正午から半蔵門のレストランアルゴ(前回・前々回と同じ場所です)で開催されます。

名簿管理システム管理者を募集します

同窓会では会員情報をパソコンでデータベース化して管理をしています。現在会員情報管理を1名で行っていますが、今後複数担当者による管理に移行する予定です。幹事会では会員情報管理システムを担当して頂ける方を募集いたします。システム開発経験者、プログラミング経験者の方ご連絡ください。

☆会員情報管理システム環境

- ・Windows パソコン

MicrosoftのACCESS(データベース) Excel

☆会員情報管理システムの作業内容

- ・会員の卒業期・氏名・郵便番号・住所の管理
- ・新規会員登録・修正管理
- ・会費入金管理
- ・「そてつ」発送先一覧の作成

☆名簿管理プログラム

- ・Microsoft Visual Basic.net で作成されています

なお、パソコン環境、データベース環境、プログラム環境は変更してもかまいません。

連絡先：同窓会事務局

kanjicho@kojimachi.jh-dosokai.jp

期	姓	名	検索	画面消去
クラス	組番号	旧姓	該当人数	
郵便番号				
住所-1				
住所-2				
住所-3				
電話				
メール				
金額	入金日			
開示不可	<input type="checkbox"/> 氏名(個人・法人)	<input type="checkbox"/> 寄付金額	<input type="checkbox"/> 未達	更新
今年度会費	入金日	最終更新日		
メモ				

